

海軍公報

第二百二十二號

昭和二年六月一日(水)
海軍大臣官房

○通牒

官房第一八四五號

昭和二年六月一日

海軍次官

各鎮守府司令長官殿
採用試験ニ關スル件

各種練習生採用學力試験ニ關シテハ鎮守府司令長官ハ必要ニ應ジ所在在籍艦船部隊其ノ他各部ノ長ヲシテ之ヲ聯合實施セシメラレ差支ナキ趣旨ニ付御了知相成度
右依命申進ス

○訓令

海軍省出仕海軍少佐 加藤 正
海軍省人事局ニ於テ服務スヘシ(海軍大臣)

○辭令

○昭和二年六月一日

(各通)

任海軍豫備一等兵曹

(各通)

上垣内	兒玉	山本	横田	平岡	吉村	山崎	山田	桑野	松永	熊岡	石塚	堀林	若林	森下	花井
敏正	石夫	義晴	治己	謙三	勝三	三良	淳三	新吉	三千雄	忠太郎	重雄	正一	幸一郎	仁智郎	

海軍公報 第二百二十二號 昭和二年六月一日

五四七

任海軍豫備一等機關兵曹

(各通)

海軍大尉 酒井 慶三
 同 杉本 豊
 同 友成 潔
 海軍中尉 岩上 次一
 同 梶原 正見
 舞鶴要港部軍法會議判士ヲ命ス(以上ハ海軍省)
 海軍少佐 加藤 正
 第二課勤務ヲ命ス(ハ海軍省人事局)

○雜款

○軍艦長良行動豫定

地名	着	發
佐世保	六月六日	六月六日
有川	六月七日	六月七日
富江	六月七日	六月七日
水俣	六月九日	六月九日
里俣	六月十一日	六月十一日
枕崎	六月十三日	六月十三日
西表	六月十四日	六月十四日
油津	六月十六日	六月十八日

○郵便物發送先
軍艦長良宛

佐世保	六月五日迄ニ到達見込ノモノハ	七月三日
水俣	同 十日迄ニ同	七月三日
枕崎	同 十三日迄ニ同	七月三日
油津	同 十七日迄ニ同	七月三日
小松島	同 二十日迄ニ同	七月三日
大坂	同 二十三日迄ニ同	七月三日
志度	同 二十五日迄ニ同	七月三日
多津	同 二十八日迄ニ同	七月三日
長濱	同 三十日迄ニ同	七月三日
宇ノ島	七月二日迄ニ同	七月三日
其ノ後ハ		

小松島	十八日	二十一日
大坂	二十一日	二十四日
志度	二十四日	二十六日
多津	二十六日	二十九日
長濱	二十九日	七月一日
宇ノ島	七月一日	七月三日
佐世保	七月三日	七月三日

特務艦知床宛

七月 五 日迄ニ到達見込ノモノハ

横濱郵便局氣付(軍艦郵便)

八月 三 日迄ニ同

徳山 佐世保

其ノ後ハ

○出發

歐米各國 出張	海軍教授 浦井鏗三	六月十一日東京發	乘船
米國駐在	海軍少佐 小林謙五	同日横濱發	大洋丸
英國出張	海軍主計少佐 横尾石夫	六月八日午後八時四十分 東京驛發	乘船
	同	九日正午 神戸發	諏訪丸

○正誤 云々

四月五日公報辭令欄中海軍技手濱村尊義ノ職課「兼海軍航空本部造兵監督助手」ハ「兼海軍航空本部附造兵監督助手」ノ誤

○艦船所在

▲印ハハホホ
指定ヲ要セズ

○六月一日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、北上、日進▲、阿蘇、山城、五十鈴、長門、鳳翔、

▷警手▲、

淺間、春日、赤城

□野風、

沼風、波風、驅一、灘風、

島風、

夕風、汐風、帆風、太刀風、

羽風、

秋風、松、榭▲、杉、柏、

三日月、

白露、驅三一、梅、楠、楓、桂、

波一、

波二、波九、波一〇、波一二、

呂一一、

呂二三、呂五五、呂五四、

呂五六、

伊二一、伊二、呂三二、

呂二一、

呂二〇

□掃一、

掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、

夕暮、如月、響

武藏、

鳴戸、富士、松江、大泊、高崎

(加賀)、

(妙高)、(伊五八)

【浦賀】

(驅三三)

【館山】

□桐、櫻、橘、樺

問宮

【伊勢灣】

那珂

【大湊】

沖風、矢風

【吳】

明石、千歳、淀、霧島、ト鬼怒、阿武隈、

球磨、韓崎、▷古鷹、神通、扶桑、勝力、

萩、

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、

呂二八、呂五五、呂五三、

呂二六、

呂二七、呂五七、呂五八、

呂五九、

呂一四、呂一五、呂一六、

□水無月、

長月、浦波、磯波、菊月、綾波、

野間、

野島、劍崎、朝日、攝津、石廊、

室戸

笠戸丸

(伊五五)

(驅三四)

【大阪】

呂三一

【神戸】

(衣笠)、(呂六六)、(伊三三)

【徳山】

青島

【舞鶴】

吾妻、多摩

【佐世保】

大和

最上、

名取、出雲、由良、ト夕張、駒橋、

若宮、

長良

驅三〇、

驅二九、驅二一、驅二七、

驅二八、

驅二九、驅二一、驅二七、

驅二三、

驅二五、驅二一、驅一九、

驅三三、

驅二五、驅二一、驅一九、

呂一、

呂二、呂四、呂三、呂五、

海軍公報 第百二十二號 昭和二年六月一日

五五二

長崎 (青葉) 伊五四
 馬公 大井、宇治
 鎮海 山谷風、江風、菊、檜
 旅順 山風、海風、檜、榎
 天津 峯風、澤風
 芝罘 檜
 青島 對馬、平戸、常磐
 上海 利根、八雲、鳥羽、矢矧、天龍、勢多
 鎮江 鶴見
 南京 磯田
 蕪湖 磯風
 九江 濱風
 大冶 伏見
 漢口 保津
 比良、川内、堅田
 長沙 比良、川内、堅田
 馬尾 比良、川内、堅田

廈門 驅九
 汕頭 驅三、驅七
 廣東 葵
 香港 神威
 檳榔嶼 襟裳
 航海中
 隱戸 (五月九日桑港發—徳山へ)
 尻矢 (五月十三日横須賀發—桑港へ)
 洲崎 (五月二十二日横須賀發—「タラカン」へ)
 驅一〇 (五月二十四日漢口發—下江)
 早輜 (五月二十五日「マニラ」發—徳山へ)
 木曾 (五月二十七、呂一八、呂一九 (五月二十六日 郡中發—伊豫灘へ))
 安宅 (五月二十六日漢口發—宜昌へ)
 膠州 (五月二十八日「サイパン」發—「ミレ」へ)
 陸奥 (呂六四、呂六三、呂六八、呂六一、呂六〇、呂六二、呂六七、呂六五 (五月二十九日 日佐世保發—館山へ))
 桃 (五月二十九日上海發—漢口へ)
 天津風 (五月二十九日漢口發—上海へ)
 伊勢、日向 (五月三十日吳發—館山へ)
 滿州 (五月三十日那霸發—基隆へ)
 口金剛、加古 (五月三十一日横須賀發—伊勢灣へ)
 龍田 (呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇)
 比叡 (一日佐世保發—伊勢灣へ)

(部内限一頁)

海軍公報

第百二十三號

昭和二年六月二日(木)

海軍大臣官房

○辭令

海軍書記 石塚 胤長

兼爆藥部附ヲ命ス(六月海軍火藥廠)

○雜款

○特務艦室戶行動豫定變更(四月二十五日 本冊參照)

地名	着	發
吳	六月四日	六月三日
佐世保	六月六日	六月六日
長崎	六月八日	六月七日
西戶崎	六月十二日	六月十日
舞鶴	六月十八日	六月十六日
西戶崎	六月二十一日	六月二十日

○郵便物發送先

關東州在勤海軍武官海軍中佐北岡春雄宛

自今 關東州旅順海軍無線電信所氣付

○郵便物閉糞交換開始期日變更(五月二十三日 本冊參照)

第二驅逐隊郵便物閉糞交換記事中「沖風」ヲ「澤風」ニ、「澤風」ヲ「沖風」ニ變更ス

○事務所變更

軍艦衣笠艦裝具事務所ヲ株式会社川崎造船所海軍監督官事務所内ニ設置中ノ處自六月八日 至七月九日(吳在泊中) 間同艦内ニ於テ事務ヲ取扱フ

○赴任

獨國在勤帝國大使館附武官海軍大佐服部豊彦ハ來六月七日午後八時四十分東京發、九日正午神戸出港ノ汽船諏訪丸ニテ、墨國在勤帝國公使館附武官海軍中佐竹下志計理ハ同十一日午前九時五分東京發、正午橫濱出港ノ汽船大洋丸ニテ孰モ赴任ノ豫定

海軍公報 第百二十三號 昭和二年六月二日

五五三

海軍機關大佐從五位勳三等佐藤信本月一日卒去、
來四日午後二時ヨリ三時迄府下中野町打越二〇六
五自宅（省線中野驛北口下車打越大通リヲ東へ）
ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印ハ「ハキ」ノ
指定ヲ要セズ

○六月二日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、北上、日進▲、

阿蘇、山城、五十鈴、ト磐手▲、淺間、

春日、赤城

区野風、沼風、波風、驅一、区灘風、

島風、夕風、沙風、区帆風、太刀風、

羽風、秋風、区松、榊▲、杉▲、柏、

三日月、白露、驅三一、楓、桂、区桐、

蕨、董

波一、波二、波九、波一〇、呂一二、

呂一三、区呂五五、呂五四、

呂五六、伊二二、伊二、区呂二三、

呂二一、呂二〇

区掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎

【浦賀】(驅三三)

【館山】区長門、陸奥、伊勢、日向、鳳翔、ト龍田、

ト迅鯨

櫻、橘、樺、区梅、楠、区梅、柿、榆、

栗、区菱、葦

区呂六四、呂六三、呂六八、区呂六一、
呂六〇、呂六二、区呂六七、呂六五

問宮

【伊勢灣】区金剛、加古、那珂

【大湊】

【吳】

明石、千歳、淀、霧島、ト鬼怒、阿武隈、

球磨、韓崎、ト古藤、神通、扶桑、勝力、

区驅四、驅二、驅八、驅六、区薄、藤、

萩、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二八、区呂五一、呂五三▲、

区呂二六、呂二七、区呂五七、呂五八、

呂五九、呂一四、呂一五、呂一六、

区呂一七、呂一八、呂一九

区水無月、長月、浦波、磯波、菊月、綾波、

野間、野鳥、劍埼、朝日▲、攝津、石廊、

室戸

笠戸丸

【大阪】(驅三四)

【神戸】

(衣笠)、(呂六六)、(伊二二)

【徳山】

青島、早鞆

【別府】

木曾

【舞鶴】

吾妻、多摩

海軍公報 第百二十三號 昭和二年六月二日

五五五

【佐世保】 大和 最上、名取、出雲、由良、ト夕張、駒橋、
長良 驅三〇、區蓼、蓬、蓮、區驅二七、
驅二八、驅二九、區驅一一、驅二七、
驅一三、驅一五、區驅二一、驅一九、
驅二三、驅二五、區樅、榧、梨、竹、
驅三二
區一、區二、區四、區三、區五、
區呂二四、區呂三三、區呂二五、區呂三二、
區呂二九、區呂三〇
朝風、若葉、湖、初雪、子日、春風
敷島、佐多、能登呂
(伊五四)
【長崎】 (青葉)
【馬公】 大井、宇治
區谷風、江風、菊
【基隆】 滿州
【鎮海】 區山風、海風、檜、榎
【旅順】 桑
【普察加特】 區峯風、澤風
【天津】 區橫
【芝罘】 榑
【青島】 對馬、平戶、常磐
【上海】 利根、八雲、矢矧、勢多
區驅一二、驅一六、驅一八、天津風

【鎮江】 鶴見 隅田
【南京】 磯風
【蕪湖】 濱風
【九江】 伏見
【大冶】 保津
【漢口】 比良、川内、堅田
區時津風、浦風、區檜、柳
【長沙】 嗟峨
【馬尾】 驅五
【廈門】 驅九
【汕頭】 區驅三、驅七
【廣東】 葵
【香港】 神威
【タラカン】 襟裳、洲崎
【航海中】
隱戸 (五月九日桑港發一徳山へ)
尻矢 (五月十三日横須賀發一桑港へ)
驅一〇 (五月二十四日漢口發一上下江へ)
安宅 (五月二十六日漢口發一宜昌へ)
膠州 (五月二十八日「サイパン」發一「ミレ」へ)
桃 (五月二十九日上海發一漢口へ)
比叡 (一日佐世保發一伊勢灣へ)
天龍 (一日上海發一吳へ)
若宮 (一日上海發一富江へ)
鳥羽 (一日上海發一漢口へ)
知床 (一日佐世保發一「シヤトル」へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第百二十四號

昭和二年六月三日(金)
海軍大臣官房

○通牒

軍務一第一三九號ノ三

吳海軍人事部ヨリ軍艦青葉艦名起原ニ就キ照會ニ對シ
同艦ハ丹後若狹國境ノ青葉山ニ因ミ命名セラレタルモ
ノナル旨回答セリ

昭和二年六月三日

海軍省軍務局

建第三八五號

昭和二年六月三日

海軍省建築局長

各國有財產事務分掌官殿

國有財產取得報告ニ關スル件

大正十一年建本第一九〇三號通牒様式ヲ左ノ通改正ス
様式(用紙美濃形)

海軍公報 第百二十四號 昭和二年六月三日

發應番號

年月日

所管長官

海軍大臣宛

土地(地主權)買入(收用)報告

所在地 口座名 用途 數量 價格 買入(收用)訓令文ハ認許
年月日 年月日 番號 備考

所在地	口座名	用途	數量	價格	買入(收用)訓令文ハ認許 年月日	年月日	番號	備考

地形圖試葉、實測圖試葉添付

右報告ス

(大正十一年十二月三日海軍公報参照)

○辭令

海軍機關少佐 徳田 順一
第三課勤務ヲ命ス(ハ明海軍省軍需局)

五五七

1823

電氣研究部附ヲ命ス(註)海軍技術研究所) 海軍技手 重中 芳平

○雜款

○司令驅逐艦變更 第二十一驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ一時桐ヨリ樺ニ變更セリ

○軍艦勝力行動豫定

地名	着	發
吳	六月九日	六月九日
安下庄	六月九日	十日
宇和島	十日	十二日
杵築(假泊)	十二日	十三日
屋島(假泊)	十三日	十四日
吳	十四日	

○郵便物發送先

軍艦勝力宛
 六月九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
 同 十二日迄ニ同 宇和島
 其ノ後ハ 吳

○學生入校期日 今期入校スベキ本校普通科學生ハ來六月七日授業開始ノ豫定ニ付同六日迄ニ著校セシメラレ度 (海軍機關學校)

○機關工業伎倆査定課題發送 昭和二年七月施行ノ機關工業伎倆査定課題本月二日發送濟 (海軍機關學校)

○海軍共濟組合振替貯金口座加入 東京 三三七一七番

海軍共濟組合

本口座ハ海軍艦政本部總務部第三課長取扱ニ係ル共濟部資金ニノミ使用ス

○出發

米國駐在 海軍少佐 伊藤整一 六月十一日横濱發 大洋丸

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」
指定ヲ要セス

○六月三日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、北上、日進▲、阿蘇、山城、五十鈴、▽磐手▲、淺間、春日、赤城

▽野風、沼風、波風、驅一、▽瀧風、島風、夕風、汐風、▽帆風、太刀風、羽風、秋風、▽松、榊▲、杉▲、柏、三日月、白露、驅三一、楓、桂、▽樺、桐、櫻、橘、萩、菫

波一、波二、波九、波一〇、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

▽掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

【浦賀】(驅三三)

【箱山】▽長門、陸奥、伊勢、日向、鳳翔、▽龍田、▽迅鯨

▽梅、楠、▽梅、柿、榎、栗、▽菱、葦、▽呂六四、▽呂六三、▽呂六八、▽呂六一、▽呂六〇、▽呂六二、▽呂六七、▽呂六五

【伊勢灣】▽金剛、加古、那珂

【大湊】沖風、矢風

【吳】明石、千歳、淀、霧島、▽鬼怒、阿武隈、球磨、韓崎、▽古鷹、神通、扶桑、勝力、▽驅四、驅二、驅八、驅六、▽薄、藤、萩、菫

波三、波四、波五、波六、波七、波八、波九、波一〇、波一一、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九

呂一七、呂一八、呂一九

▽水無月、長月、浦波、磯波、菊月、綾波、野間、野島、劍埼、朝日▲、攝津、石廊、室戸、笠戸丸

(伊五五)

【大阪】(驅三四)

【神戸】(衣笠)、(呂六六)、(伊二二)

【別府】木曾

【舞鶴】吾妻、多摩

【佐世保】大和

最上、名取、出雲、由良、▽夕張、駒橋、長良、驅三〇、▽呂六〇、▽呂六二、▽呂六七、▽呂六五

海軍公報

第二百二十五號

海軍大臣官房

昭和二年六月四日(土)

○令達

官房第一八九五號

昭和二年六月四日

海軍大臣

本所屬長官殿

特別大演習ニ關スル件

本年秋季特別大演習施行ノコトニ内定セラル
右通達ス

官房第一八九六號

昭和二年六月四日

海軍大臣

啓

不具癩疾職工取扱ニ關スル件

一、海軍工作廳職工業務上傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ
不具癩疾トナリ終身同一廳ニ於テ業務ニ服スルコ
ト能ハサル狀況ニ在リ且左ノ各號ニ該當スル者ハ

療養休業中本人ノ出願ニ依リ一箇年以内ヲ限リ財
團法人同潤會同潤啓成社ニ在リテ適宜職業ヲ修得
セシムルコトヲ得但シ其ノ間海軍工務規則第四十
五條ニ依ル貸錢ヲ給シ旅費其ノ他修業ニ要スル費
用ヲ給セズ

(一) 傷痕若ハ疾病治癒スルニ至ラザルモ療養ノ爲特
ニ費用ヲ要セザル程度ニ身體障害回復シ克ク其
ノ職業修得ニ堪ヘ得ベシト認メラレタル者
(二) 性質着實穩健ニシ職業ヲ修得セシムルニ適當ナ
リト認メラレタル者

(三) 復歸ノ際傷痕若ハ疾病治癒ノ程度職業修得開始
時ト同等若ハ同等以上ナルトキハ遲滞ナク解僱
セラルベキコトヲ豫メ承諾セル者

二、左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ復歸セシム

(一) 成業セルトキ

(二) 職業修得中不正ノ行爲アリタルニ因リ又ハ成績
不良ニシテ成業ノ見込無キニ因リ或ハ其ノ他職
業ヲ修得セシムルニ適セザル理由ニ因リ中途退

海軍公報 第二百二十五號 昭和二年六月四日

五六一

1827

- 職ヲ命ゼラントキ
 (三) 所定ノ教育期間ヲ經過スルモ尙課業ヲ修得シ能
 ザルトキ
 (四) 職業修得中官費療養ヲ要スルニ至リタルトキ
 三、本件該管者修業經過ノ概況ハ終業後其ノ都度之ヲ
 報告スベシ
 四、海軍工作廳以外ノ工場ニ使役スル職工ニ付テハ前
 各號ヲ準用ス

○ 辭 令

海軍特務少尉 久芳 五平
 第一課勤務ヲ命ス(五ノ)海軍省軍需局

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第十五驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ薄ヨリ萩ニ
 變更セリ

正
 十
 日

○艦船所在

指▲印ハハハセ
指定ヲ要セズ

○六月四日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、北上、日進▲、阿蘇、山城、五十鈴、ト磐手▲、淺間、春日、赤城

野風、沼風、波風、驅一、巨瀨風、島風、夕風、汐風、巨帆風、太刀風、羽風、秋風、巨松、柳▲、杉▲、柏、三日月、白露、驅三一、楓、桂、巨樺、桐、櫻、橘、蕨、菫

波一、波二、波九、波一〇、呂一一、呂一二、呂一三、巨呂五五、呂五四、呂五六、伊二二、伊二、巨呂三二、呂二一、呂二〇

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響、武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎

【浦賀】(驅三三)
【館山】巨長門、陸奥、伊勢、日向、鳳翔、ト龍田、ト迅鯨

巨梅、楠、巨楸、柿、榆、栗、巨菱、葦、巨呂六四、巨呂六三、巨呂六八、巨呂六一、巨呂六〇、巨呂六二、巨呂六七、巨呂六五

【伊勢灣】巨金剛、比叡、加古、那珂

【大湊】沖風、矢風、明石、千歳、淀、霧島、ト鬼怒、阿武隈、球磨、韓崎、ト古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍

巨驅四、驅二、驅八、驅六、巨萩、薄、藤、菫

波三、波四、波五、波六、波七、波八、呂五二、呂二八、巨呂五一、巨呂五三、巨呂二六、呂二七、巨呂五七、巨呂五八、呂五九、呂一四、呂一五、呂一六、巨呂一七、呂二八、呂一九

巨水無月、長月、浦波、磯波、菊月、綾波、野間、野島、劍埼、朝日▲、攝津、石廊、笠戸丸

【大阪】(伊五五)

【神戸】(驅三四)
【油津】木曾
【舞鶴】吾妻、多摩

【佐世保】大和
最上、名取、出雲、由良、ト夕張、駒橋、長良、若宮

驅三〇、巨菱、蓬、蓮、巨驅二七、

海軍公報 第百二十五號 昭和二年六月四日

五六三

長崎 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 馬公 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 基隆 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 鎮海 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 旅順 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 天津 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 芝罘 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 青島 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 上海 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 鎮江 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 南京 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一
 蕪湖 呂三九、呂三四、呂三三、呂三五、呂三一

大冶 浦風、比良、川崎、堅田、保津
 漢口 比良、川崎、堅田、保津
 長沙 比良、川崎、堅田、保津
 廣東 比良、川崎、堅田、保津
 廈門 比良、川崎、堅田、保津
 汕頭 比良、川崎、堅田、保津
 香港 比良、川崎、堅田、保津
 天津 比良、川崎、堅田、保津
 上海 比良、川崎、堅田、保津
 鎮江 比良、川崎、堅田、保津
 南京 比良、川崎、堅田、保津
 蕪湖 比良、川崎、堅田、保津

(部内限一頁)

海軍公報

第百二十六號

昭和二年六月六日(月)
海軍大臣官房

○令達

官房第一九五號

特務艦鳴戸ニ搭載スベキ補給用糧食品ニ關シテハ大正十四年官房第一七〇一號ヲ準用ス

昭和二年六月六日

海軍大臣

參照 大正十四年官房第一七〇一號ハ特務艦間宮ニ搭載スベキ補給用糧食品ニ關スル件ナリ

官房第一五三五號ノ二

當分ノ簡支那官服ニ於ケル陸戰隊ノ隊裝ニハ第二種軍裝着用期間左記ニ依リ茶褐色ノ服裝ヲ用フルコトヲ得

昭和二年六月六日

海軍大臣

記

- 一、茶褐色被服ノ制式ハ左ノ通トス
夏衣、夏袴 第二種軍裝ニ同シ但シ准士官以上ノ夏衣ニハ左右胸部ニ表隠シヲ附ス
帽日覆、脚絆 現用ノモノニ同シ
- 二、下士官兵ノ夏衣ニハ官職區別章(軍衣ニ用フルモノ)ノミヲ附スルモノトス
- 三、茶褐色被服ハ之ヲ貸與品トシ各二組(個)ツツラ交付ス

○雜款

- 司令驅逐艦變更
第二十一驅逐隊司令ハ本月五日司令驅逐艦ヲ樺ヨリ桐ニ變更セリ

○郵便物閉塞交換廢止

海軍公報 第百二十六號 昭和二年六月六日

五六五

1831

軍艦天龍ト長崎郵便局間ニ取扱ハレ居リ候軍艦郵便ハ
今般廢止セラレタリ (昭和三年公報一九三頁)

海軍省副官

◎資金前渡官吏事務開始

本月一日ヨリ軍艦青葉機装員ニ要スル經費資金前渡
官吏ノ事務開始ニツキ關係書類ハ總テ左記ヘ送付ノコ

長崎三菱造船所内

軍艦青葉機装員事務所

海軍技手山尻監二、五月二十六日死亡セリ

豫備役海軍少將從四位勳三等功三級青木董平本月
三日静岡縣田方郡伊東町松原田圃其番地ノ中ニ於
テ卒去セリ 昭六六〇

海軍省副官

長崎三菱造船所内

軍艦青葉機装員事務所

編三一
 呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、
 呂二四、呂二三、呂二五、呂三三、
 呂二九、呂三〇
 朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風
 敷島、佐多、能登呂、早稲
 (伊五四)
 室戸
 青葉
 馬公 大井
 江風
 滿州
 鎮海 山風、海風、檜、榎
 旅順 桑
 塔子加神 峯風、澤風
 天津 檣
 芝罘 檣
 青島 對馬、平戸、常磐
 榎
 上海 利根、八雲、矢矧、勢多
 編一二、編一六、編一八、天津風
 鎮江 隅田 鶴見
 南京 磯風
 蕪湖 濱風
 九江 時津風
 大冶 浦風

漢口 比良、川内、堅田、保津、伏見
 柳
 長沙 艦載
 厦門 安宅
 汕頭 宇治
 廣東 編九、
 葵 區谷風
 桑港 尻矢
 航海中
 膠州 五月二十四日漢口發—下江
 膠州 (五月二十八日「サイパン」發—「ミレ」)
 桃 (五月二十九日上海發—漢口)
 鳥羽 檣 (一日上海發—漢口)
 知床 (一日佐世保發—「シャトル」)
 襟裳 (二日「タラカン」發—徳山)
 神威 (四日桑港發—徳山)
 編三、編七 (五日汕頭發—馬公)
 編五 (五日馬尾發—馬公)
 洲崎 (五日「タラカン」發—徳山)
 長門、陸奥、伊勢、日向、龍田、鳳翔、迅鯨
 梅、柿、榆、栗、菱、蕨、葦、草、梅、楠
 桐、櫻、橘、樺、間宮 (六日館山發—横濱)

(附録五頁、部内限二頁)

海軍公報 附録

昭和二年六月六日(月)
海軍大臣官房

○雑款

○圖書

五月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

一 軍事

- 英國海陸空三軍合同問題の経緯 海軍軍令部 昭和二、三〇頁 五二六七
- 佛國海軍各種計畫及充員問題の概要(一九二六年三月以降) 海軍軍令部 昭和二、二九頁 五二六九
- 北海海戦に對する作戰命令 海軍軍令部 昭和二、七頁 五二六八
- (獨逸海戦史資料 第二)
- 明治四年横須賀造所行幸海軍天覽の記 海軍大臣官房 昭和二、九頁 五二四九
- 明治元年大阪天保山沖に於ける觀艦式 海軍大臣官房 昭和二、四頁 五二五〇
- 嗚呼記念艦三笠 佐藤嘉太郎著 大正一五、一八九頁 五二四三
- 大正十五年特別大演習寫真帖 特別大演習統監部編 昭和二、A 三九六

趣味の目清日露戰史

陸軍歩兵少佐及川源七著

昭和二、四七〇頁 五二五〇

日清實戰講話資料

石川京吉編 昭和二、二版、二四五頁 五二二一

日本戰史集

陸軍歩兵大佐栗原勇、陸軍歩兵少佐世良田勝編

大正一五、二八六頁 五二五六

- 第一輯 第一編 分階河原の會戰
- 第二編 上川城の戰闘
- 第三編 高遠城の攻防戰
- 第四編 忍城の攻守戰
- 第五編 蕪山の攻守戰
- 第六編 姉川の合戰
- 第七編 屋島の合戰
- 第八編 筑後川の會戰
- 第九編 文永の役と弘安の役
- 第十編 高城の戰闘
- 第二輯 第一編 横田原の合戰
- 第二編 四の宮、大塔の合戰
- 第三編 川中島の合戰
- 第四編 宋森城の合戰
- 第五編 三方原の會戰
- 第六編 關ヶ原の會戰
- 第七編 笠置山の會戰
- 第八編 伏見城の攻防戰
- 第九編 淡川の會戰
- 第十編 戸次川の合戰

二 政治、經濟、統計、社會

憲法撮要	美濃部達吉著	昭和二、四版、五八〇頁	五〇九
外交讀本	稻原勝治著	昭和二、五八二頁	五二七
支那の反帝國主義運動	長野朋著	昭和二、二九二頁	五二七
支那國治外法權に關する委員會の報告書	外務省編	昭和二、三二七頁	五二八
支那に於ける新聞發達小史	滿鐵東亞經濟調查局編	昭和二、五六頁	五三三
新皇學叢書	物集高見編	昭和二、	五三五
第五卷	禁秘御鈔階梯	滋野井公庵著	
	建武年中行事	後醍醐天皇御撰	
	日中行事	後醍醐天皇御撰	
	當時年行事	後水尾天皇御撰	
	内裏式	藤原冬嗣等奉勅撰	
	公事根源	一條兼良撰	
	前玉廟陵記	松下見林著	
	山陵志	蒲生秀實著	
	山陵考	谷森種案著	
勸察加調査書	滿鐵調査課編	昭和二、四四四頁	五四五
露領沿海地方の自然と經濟	滿鐵調査課編	昭和二、三九三頁	五四四
經濟上より觀たる	關領印度	増井貞吉著	大正一五、五七七頁
現行統計法規類抄	内閣統計局編	大正一五、一七二六頁	五七三
國際統計摘要	内閣統計局編	昭和二、二三七頁	五〇三

勞働問題原理 渡邊一郎著 昭和二、三七八頁

三 歴史、傳記

綜合日本史大系	内外書籍株式會社發行	昭和二、	
第六卷	南北朝	魚澄愷五郎著、七三八頁	五〇七
近世日本國民史	徳富猪一郎著	昭和二、	
	田沼時代	五三〇頁	五〇四
ラテンアメリカ史論	朝日胤一著	大正一、二〇三頁	五三四
耶蘇會士日本通信	村上直次郎著	昭和二、四九三頁	五七一
	(異國叢書ノ内)		
四 地誌、紀行			
國民東洋地理讀本	米、エルスワス、ハンティントン著、	露崎厚譯	昭和二、五五二頁
	東亞同文會調查編纂部編	昭和二、一四四八頁	五二九
支那年鑑(昭和二年版)		昭和二、七九〇頁	五二六
外蒙共和國	滿鐵調査課編	昭和二、二冊、七九〇頁	五二六
暹羅研究	第一編、臺灣總督官房調査課編	昭和二、一八〇頁	五二五
改造外國地理	長谷川與三治著	大正一四、五八八頁	五二五
歐洲旅行案内	上村知清著	昭和二、三三六頁	五二二
西洋又南洋	山崎直方著	昭和二、四七五頁	五二〇
世界放心遊記	矢田挿雲著	大正一五、五六四頁	五三八
馬のくしやみ	金子健二著	大正一五、七八八頁	五三三
ハワイ印象記	上原敬二著	大正一三、一九三頁	五三三
五 宗教、哲學			

宗教學概論 河面仙四郎著 昭和二、三七八頁	五二五
世界大思想全集 春秋社發行 昭和二、	五二六〇
第十四卷 ラオコオン 獨、レツシヤ著 柳田泉譯	一八七頁
レオバルヂ集 伊、レオバルヂ著 柳田泉譯	三〇七頁
第二十八卷 第一原理 英、スメンサー著 澤田謙譯	七三二頁
六 文學、語學	
新英和大辭典 岡倉山三郎著 昭和二、二〇四八頁	五二二六
七 理學	
滿洲植物誌 露、ウニ、コマロフ著 古澤敏太郎譯	五二三
滿鐵株式會社編 昭和二、二冊、七四七頁	五二三
支那地質調査報告類集 第三卷 臺灣總督官房調査課編	五二六
昭和二、一一〇頁	五二六
大正鐵道震害調査書 鐵道大臣官房研究所編	五二六
昭和二、	五二六
北但震災誌 兵庫縣編 大正一五、二〇三頁	五二六
九 産業	
全國産業博覽會誌 石川彌吉編 昭和二、四七六頁	五二五
本邦基礎産業集中の現勢 其三 滿鐵調査課編	五二六
昭和二、一三九頁	五二六
日本産業資料大系 自第一卷	五二六
至第十卷 澁本誠一、向井廣松編	五二六
第十二卷 大正一五、昭和二、十一冊	五二六
綜合主要材料及商品智識 野々木清藏編 昭和三、五四六頁	五二六
大正十四年大日本外國貿易年表 上編 大藏省編 昭和二、	五二七
十四年大日本外國貿易年表 下編 大藏省編 昭和二、	五二七
外國貿易に於ける横濱港の地位 橫濱商業會議所編	五二六
昭和二、二九頁	五二六

勞農露國の産業と電化計畫 滿鐵調査課編	昭和二、一七五頁	五二五
歐米の港灣に於ける貨物の荷役 渡邊四郎著	昭和二、四九八頁	五二五
洋書、部		
I. NAVAL, MILITARY & AVIATION.		
Andogsky, A. Means of solving the problems of the Pacific Ocean. Harbin, 1926. p. 52. R 560		
Baker, P. J. N. Disarmament. London, 1926. p. 352. 6022		
Gr. Britain, Admiralty. The King's Regulations and Admiralty Instructions for the Government of His Majesty's Naval Service. 1926. London, 1926. 2 vols. p. 1410. 6068		
Hirst, F. W. & J. E. Allen. British war budgets. London, 1926. p. 502. 6058		
Gr. Britain, Admiralty. Admiralty handbook of wireless telegraphy, 1925. London, 1925. p. 547. 6100		
Hart, W. D. & W. W. Smith. The Principles of sound signalling. London, 1925. p. 139. 6091		
Shankland, E. C., Comd., R. N. R. Modern hours. Conservancy and operations. Glasgow, 1926. p. 243. 6057		

- Gooch, G. P. & H. Temperley (ed.) British documents on the origins of the war, 1898-1914. Vol. XI. The outbreak of war. Foreign Office documents, June 28th-August 4th. London, 1926. p. 389. 6031
- Wühlmann, C., Major. Der Kampf um die Dardanelles, 1915. Berlin, 1925. p. 195. 1447
- Robertson, William, Field-Marshal. Soldiers and statesmen, 1914-1918. London, 1925. 2 vols. p. 660. 6116
- Tirpitz, A. V. Deutsche Ohnmachtpolitik im Weltkrieg. Berlin, 1926. p. 704. 1439
- Wilson, H. W. Battleships in action. London, 1926. 2 vols. p. 721. 6033
- Alden, C. S. & R. Earle. Makers of naval tradition, 1925. p. 332. 6059
- Corbett-Smith, A. Nelson: the man. A portrait study. London, 1926. p. 364. 6061
- Waters, W. H.-E., Brig-General, R. A. "Secret and confidential". The experiences of a military attaché. N. Y., 1926. p. 388. 6060
- Bauer, I. H., Major, M. C., U. S. A. Aviation medicine. Baltimore, 1926. p. 241. 5880
- Thomas, L. The first world flight. London, 1926. ? p. 303. 6050
- Wartin, A. S. & C. V. Weller. The medical aspects of mustard gas Poisoning. London, 1919. p. 267. 6101
2. POLITICS & SOCIOLOGY.
- American relations with China. A report of the Conference held at John Hopkins University, Sept. 17-20, 1925. Baltimore, 1925. p. 198. 6070
- Asquith, K. G., The Earl of Oxford and. Fifty years of British Parliament. Boston, 1926. 2 vols. p. 614. 6112
- International Telegraph Convention of Saint-Petersburg and Service Regulations annexed. Revision of Paris, 1925. London, 1926. p. 156. 6069
- Selections from the correspondence of Theodore Roosevelt and Henry Cabot Lodge. 1884-1918. N. Y., 1925. 2 vols. p. 1117. 6111
- Steed, H. W. Through thirty years, 1892-1922. A Personal narrative. N. Y., 1925. p. 418. 6023
- Trotsky, L. Where is Britain going. London, 1926. p. 178. 6114
- Zimmerman, A. The third British empire. London, 1926. p. 148. 6027

Fisher, A. G. B. Some problems of wages and their regulation in Great Britain since 1918. London, 1926. p. 281.	6082
Hayward, W. R. & G. W. Johnson. The evolution of labour. London, 1926. p. 224.	6056
Hurd, Archibald. State socialism in practice London, 1925. p. 234.	6088
Ress, J. M. Unemployment as an international problem. London, 1926. p. 188.	6051
3. HISTORY & GEOGRAPHY.	
Melgunov, S. P. The red terror in Russia, London, 1926. p. 271.	6054
Sarolea, Charles. Impressions of Soviet Russia. London, 1924. p. 288.	6053
Spender, J. A. The changing East. London, 1926. p. 256.	6062
4. NATURAL SCIENCE.	
Jeans, J. H. The dynamical theory of gases. Cambridge, 4th ed., 1925. p. 444.	6049
Lamb, Horace. Hydrodynamics. Cambridge, 5th ed., 1924. p. 687.	6048
Webster, A. G. The dynamics of particles and of rigid, elastic and fluid bodies. Leipzig, 3rd ed., 1925. p. 588.	6045
5. INDUSTRY.	
Fischer, Franz. The conversion of coal into oils. Tr. by R. Lessing. London, 1925. p. 284.	6102
Hurst, G. H. Lubricating oils, fats and greases. London, 4th ed., 1925. p. 410.	6094
Muir, A. The oil waro London, 1926. p. 234.	6029
North, S. H. & J. B. Garbe. Low temperature distillation. Home oil supply and the utilization of "waste" coal. London, 1925. p. 216.	6093
Warnes, A. R. Coal tar distillation and working up products. London, 1923. p. 511.	6021

1839

海軍公報

第百二十七號

昭和二年六月七日(火)
海軍大臣官房

○令達

官房第一九二七號

昭和二年六月七日

海軍大臣

歳出科目

款	項	目	節	解	疏	會計科目
歳出經常部	(雜給及雜費)	(外國旅費)				
(軍事費)			募集旅費			トヌ
歳出臨時部						
(大演習費)	(大演習費)	(演習費)	建築費			ムシ

○通牒

軍需第一五五號

昭和二年六月七日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

厚布蛇管修理法ニ關スル件

頭書ノ件ニ關シテハ從來種々ノ方法ヲ採用セラレ居候處客年軍艦山城提案ノ左記修理法ハ現設定需品ヲ使用シ且容易ニ施行シ得ルノミナラズ其ノ結果モ相當良好ニシテ實用ニ適スル一法ト認メ今同官房第一六三八號ヲ以テ之ガ主要材料タル「ゴム」液ヲ増額シ其ノ用途ヲ追加セラレ候ニ付テハ之ガ勵行ニヨリテ蛇管ノ引換ヲ減少セシメラルル様致度

記

蛇管ノ破損部ヲ清淨ナラシメ適當ノ大サニ裁斷セル貼

海軍公報 第百二十七號

昭和二年六月七日

五六九

1840

五月十日
五
後

五
後

布(古帆布ヲ用ヒ其ノ縁邊ノ縱横糸二條宛ヲ抜キテ周
圍ヲ解シ密着ヲ良好ナラシム)ヲ之ニ當テ其ノ周圍ニ
沿ヒ鉛筆等ヲ貼布ヨリ稍大形ニ界線ヲ畫キ線内ノ
蛇管面貼布裏面ニ下塗二回(「ゴム」液、篋類ヲ以テ第
一回ヲ行ヒ約五分ノ後第二回ヲ行フ)ヲ施シ乾燥セシ
メタル後更ニ中塗二回(赤鉛一ト「ゴム」液二トノ割
合ニテ混合セルモノ、乾燥速カナルヲ以テ手早ク且平
坦ニ第一回ヲ行ヒ約三分ノ後第三回ヲ行フ)ヲ施シ之
ヲ再ビ充分乾燥セシメタル後上塗三回(「ゴム」液、
第一回ヲ薄ク塗リ約十分ノ後第二回ヲ行ヒ約十五分
ノ後第三回ヲ行フ)ヲ施シ約五分ノ後適度ニ乾燥セル
ヲ見テ貼布ヲ附着スルコト宛モ潜水「ゴム」衣ヲ修理
スルガ如ク重層部ヲ木鋸ニテ輕ク叩キ密着ヲ完全ナ
ラシムルモトス

破損部大ニシテ右方法ニテハ充分ナチズト認ムルトキ
ハ帆縫糸ヲ以テ適度ニ繕ヒタル後之ヲ行フ可トス

○ 雜 款

○ 出發

歐米各國 出張	海軍技師 小暮佳一	六月九日正午神戸發	諏訪丸
米國駐在 海軍中尉 中野 實	同	六月十一日東京發	大洋丸
		日橫濱發	

○赴任出發時刻變更(本欄参照)
墨國在勤帝國公使館附武官海軍中佐竹下志計理ハ來六
月十一日午前十一時二十分東京發、午後三時橫濱出港
ハ汽船大洋丸ニテ赴任ノ豫定

○正誤
本月六日公報雜款欄中故海軍少將青木靈平ノ住所「靜
岡縣田方郡伊東町松原四四五番地ノ一」ハ「靜岡縣田
方郡伊東町岡六六〇番地」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月七日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、阿蘇、山城、五十鈴、磐手、浅間、春日、赤城

区野風、沼風、波風、騨一、区灘風、

島風、夕風、汐風、区帆風、太刀風、

羽風、秋風、区松、榊、杉、柏、

三日月、白露、騨三一、桂、区梅、楠

(波一) 波二、波九、波一〇、呂一二、

呂一三、区呂五五、呂五四、

騨五六、伊二一、伊二、区呂二二、

騨二〇、呂二〇、呂六八、区呂六一

区權一、掃三、掃四、神威、初霜、

夕立、夕霧、如月、霧

武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎、

青島

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

【横濱】長門、陸奥、伊勢、日向、龍田、風翔、

迅鯨

区梅、柿、檢、栗、区葵、麻、童、童、区桐、

櫻、橘、櫻

区呂六七、呂六五、区呂六四、呂六三、

呂六〇、騨六一

【浦賀】

間宮、(騨三三)

【清水】

比叡、加吉、那珂

【伊勢灣】

比叡、加吉、那珂

【大湊】

冲風、矢風

【吳】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【大湊】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【大湊】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【大湊】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【大湊】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【大湊】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【大湊】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【大湊】

球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力、天龍、木曾

【佐世保】

最上、名取、出雲、由良、夕張、駒橋、若宮

區 蓼、蓬、蓮、區 驅二七、驅二九、區 驅一一、

驅一七、驅一三、驅一五、區 驅二一、

驅一九、驅二三、驅二五、區 樅、榎、

梨、竹、區 驅二二、

呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、

呂二四、呂二三、呂二五、呂三二、

呂二九、呂三〇、

朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風

敷島、佐多、能登呂、早稲

(伊五四)

【西戸崎】

室戸

【有川灣】

長良

【長崎】

(青葉)

【小濱】

區 驅二八、驅三〇

【馬公】

大井

【鎮海】

江風、區 驅三、驅五、驅七、驅九

【旅順】

區 山風、海風、檜、榎

【天津】

區 樅、榎、澤風

【芝罘】

對馬、平戸、常磐

【上海】

利根、八雲、矢矧、勢多

區 驅一二、驅一六、驅一八

鶴見

【鎮江】 兩田

【南京】 磯風

【蕪湖】 濱風

【九江】 區 時津風

【大冶】 浦風

【漢口】 比良、川内、堅田、保津、伏見、鳥羽

區 檜、柳

【沙市】 蟻峨

【厦門】 安宅

【汕頭】 區 谷風

【廣東】 葵

【桑港】 尻矢

【航海中】

驅一〇 (五月二十四日漢口發—下江)

膠州 (五月二十八日「サイパン」發—「ミレ」)

桃 (五月二十九日上海發—漢口)

檜 (一日上海發—漢口)

知床 (一日佐世保發—「シヤトル」)

襟裳 (二日「タラカン」發—德山)

神威 (四日桑港發—德山)

洲崎 (五日「タラカン」發—德山)

滿州 (六日基隆發—測量地)

天津風 (六日上海發—大冶)

宇治 (七日厦門發—香港)

(部内限一頁)

海軍公報

第百二十八號

昭和二年六月八日(水)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一四三七號ノ三

昭和二年度歳入科目左ノ通追加ス

昭和二年六月八日

海 軍 大 臣

歳入經常部

款	項	目		解 疏
		(官業及官有) 財産收入	(官有物貨下料)	
			物品使用料	

○通 牒

艦本第三四〇一號

昭和二年六月八日

昭和二年六月七日

海軍經理學校

海軍公報 第百二十八號

昭和二年六月八日

五七三

海軍艦政本部長

海軍共濟組合病院診療所管理官殿

健康保險部組合員總數ニ關スル件

本年五月二日艦本第二五一一號診療支拂金ニ關スル件
通牒中其ノ月末日現在ニ於ケル海軍共濟組合病院又ハ
同診療所所在地各應健康保險部組合員總數トハ海軍共
濟組合規則施行細則ニ依リ提出セラルベキ健康保險部
組合員現況報告ノ本月末現員數ニ資格喪失後引續キ健
康保險給付(埋葬料又ハ埋葬費ヲ除ク)ヲ受クルモノ
及繼續組合員ノ當月末員數ヲ加ヘタル員數ヨリ療養費
支給ヲ建前トスル組合員ノ數及一箇月以上海軍ノ共濟
組合規則第十一條第二號乃至第五號ニ該當シ健康保險
部掛金ヲ徵收セザル員數ヲ控除シタル員數ト一定致シ
候
右通牒ス

天	長	奉
津	春	天
一	二	三

摘要 「バンヂエルマシ」、「サマリンド」及浦潮
 斯徳ハ孰モ報告未着

○正誤 三々
 本月七日公報通牒欄 軍需需第一五五號（五七〇頁一
 三行目）中「如ク」ハ「如クシ」ノ誤

海軍公報 第百二十八號 昭和二年六月八日

五七五

○艦船所在

▲印ハニハボシ
指定ヲ要セズ

○六月八日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、北上、日進▲、阿蘇、山城、五十鈴、ト磐手▲、淺間、春日、赤城

区野風、沼風、波風、驅一、区灘風、島風、夕風、汐風、区帆風、太刀風、羽風、秋風、区松、榊▲、杉▲、柏、三日月、白露、驅三一、桂、区梅、楠

波一、波二、波九、波一〇、呂一二、呂一一、呂一三、区呂五五、呂五四、呂五六、伊二一、伊二、区呂二二、呂二一、呂二〇、呂六八

区掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎、青島

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

【横濱】区長門、陸奥、伊勢、日向、ト龍田、鳳翔、ト迅鯨

区梅、柿、楡、栗、区菱、蕨、董、葦、区桐、櫻、橘、樺

区呂六七、呂六五、区呂六四、呂六三、呂六〇、呂六二

浦賀 (驅三三) 間宮

【清水】区楓、比叡、加古、那珂

【伊勢灣】区金剛、矢風、沖風、天龍

【大湊】区明石、千歲、淀、霧島、ト鬼怒、阿武隈、球磨、韓崎、ト古鷹、神通、扶桑、勝力

【吳】区驅四、驅二、驅八、驅六、区萩、薄、藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、呂五二、呂二八、区呂五一、呂五三、呂五七、呂五八、呂五九、呂一四、呂一五、呂一六、区呂一七、呂一九

磯波、野間、野島、劍埼、朝日▲、攝津、石廊、隱戸、笠戸丸

【大阪】(驅三四) (伊五五)

【神戸】(驅三一) (呂六六)、(伊二三)

【舞鶴】(衣笠)、(呂六六)、(伊二三)

【舞鶴】(丹後地沖) 吾妻

【丹後地沖】(作樂地沖) 大和

【梓】(佐世保) 多摩

最上、名取、出雲、由良、ト夕張、駒橋

海軍公報

第百二十九號

昭和二年六月九日(木)
海軍大臣官房

○通牒

軍需第一五〇號

昭和二年六月九日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料經理規程用紙ノ件

今般達第七十四號ヲ以テ改正ノ主計長主管艦營需品定額表燃料經理規程用紙中第五號及第十三號様式ハ在庫品限リ從來ノモノヲ適宜訂正使用スル儀ト御承知相成度
右依命通牒ス

○辭令

○昭和二年六月八日

久村 頼藏

任海軍書記
給七級俸

洪 良九郎

海軍燃料廠採炭部醫務業務囑記ヲ解ク(註十)海軍省)

海軍書記 久村 頼藏

○雜款

○軍艦天龍行動豫定

地名 着

發 六月十三日

吳 佐世保 六月十四日

○特務艦鳴戸行動豫定

地名 着

發 六月十八日

横須賀

海軍公報 第百二十九號

昭和二年六月九日

五七九

1849

吳	六月二十一日	二十三日
德山	二十三日	二十五日
佐世保	二十六日	二十八日
青島	三十日	七月二日
上海	七月四日	

○郵便物發送先

軍艦天龍宛

六月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 佐世保

特務艦鳴戸宛

六月十七日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
同 二十二日迄ニ 同 吳
同 二十四日迄ニ 同 德山
同 二十七日迄ニ 同 佐世保
其ノ後ハ 長崎郵便局氣付

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月九日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、阿蘇、山城、五十鈴、磐手、淺間、春日、赤城

野風、沼風、波風、驅一、灘風、島風、夕風、沙風、帆風、太刀風、羽風、秋風、口松、榊、杉、柏、三日月、白露、驅三一、桂、梅、楠

波一、波二、波九、波一〇、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九、波二〇、波二一、波二二、波二三、波二四、波二五、波二六、波二七、波二八、波二九、波三〇、波三一、波三二、波三三、波三四、波三五、波三六、波三七、波三八、波三九、波四〇、波四一、波四二、波四三、波四四、波四五、波四六、波四七、波四八、波四九、波五〇、波五一、波五二、波五三、波五四、波五五、波五六、波五七、波五八、波五九、波六〇、波六一、波六二、波六三、波六四、波六五、波六六、波六七、波六八、波六九、波七〇、波七一、波七二、波七三、波七四、波七五、波七六、波七七、波七八、波七九、波八〇、波八一、波八二、波八三、波八四、波八五、波八六、波八七、波八八、波八九、波九〇、波九一、波九二、波九三、波九四、波九五、波九六、波九七、波九八、波九九、波一〇〇

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎、青島、間宮

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

長門、陸奥、伊勢、日向、龍田、鳳翔

迅鯨

梅、柿、楡、栗、菱、蕨、葦、桐、櫻、橘、樺

呂六七、呂六五、呂六四、呂六三、呂六一、呂六〇、呂六一

浦賀 (驅三三)

清水、楓、比叡、加古、那珂

伊勢灣、金剛、矢風

大湊、沖風、天龍、球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、勝力

吳、明石、千歲、淀、霧島、鬼怒、阿武隈、藤、葛

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄

波三、波四、波五、波六、波七、波八、波九、波一〇、波一一、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九、波二〇、波二一、波二二、波二三、波二四、波二五、波二六、波二七、波二八、波二九、波三〇、波三一、波三二、波三三、波三四、波三五、波三六、波三七、波三八、波三九、波四〇、波四一、波四二、波四三、波四四、波四五、波四六、波四七、波四八、波四九、波五〇、波五一、波五二、波五三、波五四、波五五、波五六、波五七、波五八、波五九、波六〇、波六一、波六二、波六三、波六四、波六五、波六六、波六七、波六八、波六九、波七〇、波七一、波七二、波七三、波七四、波七五、波七六、波七七、波七八、波七九、波八〇、波八一、波八二、波八三、波八四、波八五、波八六、波八七、波八八、波八九、波九〇、波九一、波九二、波九三、波九四、波九五、波九六、波九七、波九八、波九九、波一〇〇

大阪 (伊五五)

神戶 (驅三四)

安下庄 (呂六六)、(伊三三)

舞鶴 (呂二六、呂二七、呂一八)

舞鶴 (水無月、長月、菊月、浦波、綾波)

舞鶴 (吾妻)

舞鶴 (大和)

舞鶴 (多摩)

【佐世保】

最上、名取、出雲、由良、夕張、駒橋、若宮

區 蓼、蓬、蓮、區 驅二七、驅二九、區 驅一一、

驅一七、驅一三、驅一五、區 驅二一、

驅一九、驅二三、驅二五、區 樅、樺、

梨、竹、驅三三

區 呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、

區 呂二四、呂二三、呂二五、區 呂三二、

呂二九、呂三〇

朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風

敷島、佐多、能登呂、早鞆

【長崎】

(青葉) 大井 江風、區 驅三、驅五、驅七、驅九

【鎮海】

區 山風、海風、檜、榎

【旅順】

區 桑、澤風

【天津】

區 榎、對馬、平戸、常磐

【青島】

區 榎、利根、八雲、矢矧、勢多

【上海】

區 驅一二、驅一六、驅一八、驅一〇

【鎮江】

區 網田

【南京】

區 磯風

【蕪湖】

濱風

【九江】

區 時津風

【大冶】

浦風

【漢口】

比良、川内、堅田、保津、伏見、鳥羽

【長沙】

區 檣、柳、桃、榎

【廈門】

區 安宅

【汕頭】

區 宇治

【廣東】

葵、菊

【香港】

尻矢

【航海中】

膠州 (五月二十八日「サイパン」發「ミレ」へ)

知床 (一日佐世保發「シヤトル」へ)

襟裳 (二日「タラカン」發「徳山」へ)

神威 (四日「タラカン」發「徳山」へ)

洲崎 (五日「タラカン」發「徳山」へ)

滿州 (六日基隆發「測量地」へ)

天津風 (六日上海發「大冶」へ)

鶴見 (八日上海發「漢口」へ)

室戸 (八日西戸崎發「舞鶴」へ)

長良 (九日富江發「水俣」へ)

磯波 (九日吳發「別府」へ)

(部内限二頁)



海軍公報

第三百三十號

昭和二年六月十日(金)
海軍大臣官房

○訓令

海軍大佐 濱田 吉治郎
海軍大學校教官在職中ハ參謀官ト心得ヘシ(陸明海軍大臣)

○雜款

○郵便物閉塞交換廢止 (海軍省副官)
軍艦大井ト門司郵便局間ニ開始中ノ軍艦郵便ハ今般廢止セラレタリ

○第十七驅逐隊(山風、海風、榎、檜)行動豫定

地名	着	發
鎮海	六月十五日	六月十七日
新義州	六月二十日	六月十七日
鎮南浦	六月二十二日	六月二十一日

海軍公報 第三百三十號 昭和二年六月十日

仁川	二十三日	二十六日
海	二十七日	

○特務艦青島行動豫定

地名	着	發
神戶	六月二十三日	六月二十一日
橫須賀	六月二十四日	六月二十三日
吳	六月二十六日	六月二十五日
德山	六月二十八日	六月二十七日
佐世保	七月一日	六月三十日
西戶崎	七月四日	七月二日
舞戶	七月九日	七月七日
西戶崎	七月十一日	七月十日
吳	七月十五日	七月十二日
橫須賀		

○郵便物發送先

第三戰隊司令部及軍艦鬼怒、球磨、阿武隈宛	六月十五日迄ニ到達見込ノモノハ、吳
同	六月二十七日迄ニ同 鳥羽

五八三

其ノ後ハ第一艦隊司令部ニ同ジ

第十七驅逐隊(山風、海風、板、檜)宛

六月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 鎮新 義州海

同 十九日迄ニ 同 鎮南 義州海

同 二十一日迄ニ 同 鎮南 義州海

同 二十五日迄ニ 同 鎮南 義州海

其ノ後ハ 鎮南 義州海

特務艦青島宛

六月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀

同 二十二日迄ニ 同 神戶

同 二十四日迄ニ 同 吳山

同 二十六日迄ニ 同 德保

同 二十九日迄ニ 同 佐保

七月 一日迄ニ 同 西崎

同 六日迄ニ 同 舞鶴

同 九日迄ニ 同 西崎

同 十一日迄ニ 同 吳須賀

其ノ後ハ 同 横須賀

○事務所設置

伊號第二十二潜水艦艇裝具事務所ヲ株式會社川崎造船所海軍監督官事務所内ニ設置シ本月七日ヨリ事務ヲ開始セリ

○正誤

本月四日公報辭令欄中海軍特務少尉久芳五平ノ辭令日附「五月十五日」ハ「五月二十五日」ノ、同七日公報通牒欄 軍需部第一五五號中(五七〇頁四行目)「蛇管面」ハ「蛇管面及」ノ、(同一三行目) 木鏟「ハ」木槌「ノ孰モ誤

昭和二年海軍文官名簿中四五頁二一行目「瑞八」ハ「旭八」ノ、五一頁八行目「二三・九」ハ「二三・九」ノ、六三頁一五行目「舞鶴」ハ「鎮海」ノ孰モ誤

(海軍省人事局)

○艦船所在

指[▲]印[△]ハ[○]ガ[□]ノ
要[▽]セ[◇]メ[×]

○六月十日午前十時調

【横須賀】

千早[▲]、筑摩[▲]、榛名[▲]、北上[▲]、日進[▲]、阿蘇、山城、五十鈴、ト磐手[▲]、淺間、春日、赤城

□野風、沼風、波風、驅一、□灘風、島風、夕風、汐風、□帆風、太刀風、羽風、秋風、□松、柳[▲]、杉[▲]、柏、三月月、白露、驅三一、桂、楓、□梅、楠

波一、波二、波九、波一〇、呂一二、呂一三、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇

□掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎、青島、間宮

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

【横濱】長門、陸奥、伊勢、日向、ト龍田、風翔、ト迅鯨

□梅、柿、榆、栗、□菱、蕨、葦、□桐、櫻、橘、樺

□呂六七、□呂六五、□呂六四、□呂六三、□呂六八、□呂六一、□呂六〇、□呂六一

【浦賀】(驅三三) 沖風、矢風

【大湊】 明石、千歳、淀、霧島、ト鬼怒、阿武隈、球磨、韓崎、ト古郡、神通、扶桑、天龍、驅四、驅二、驅八、驅六、□萩、薄、藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、呂二二、呂二八、□呂五一、呂五三、□呂五七、呂五八、呂五九、呂一四、呂一五、呂一六、□呂一七、呂一九、野間、野島、劍崎、朝日、攝津、石廊、隠戸、笠戸丸

【大阪】(伊五五) 笠戸丸

【神戸】(驅三四) 呂三一

【三津濱】(衣笠)、(呂六六)、(伊二二) 水無月、長月、菊月、浦波、綾波

【舞鶴】 吾妻

【丹後沖】 大和

【作樂地沖】 多摩

【杵築】 最上、名取、出雲、由良、ト夕張、駒橋、若宮

【佐世保】 若宮

□麥、蓬、蓮、□驅二七、驅二九、□驅一一、驅一七、驅一三、驅一五、□驅二一、驅一九、驅二三、驅二五、□樅、樺

梨、竹、驅三二
 呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、
 呂二四、呂二三、呂二五、呂三二、
 呂二九、呂三〇
 朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風
 敷島、佐多、能登呂、阜稱
 (伊五四)
 【長崎】(青葉)
 【水俣】長良
 【馬公】大井、滿州
 江風、驅三、驅五、驅七、驅九
 【鎮海】山風、海風、檜、榎
 【旅順】桑
 【塔察加沖】峯風、澤風
 【天津】樺
 【芝罘】對馬、平戸、常磐
 【青島】樺
 【上海】利根、八雲、矢矧、勢多
 驅一、驅二、驅一六、驅一八、驅一〇
 【鎮江】隅田
 【南京】磯風
 【蕪湖】濱風
 【九江】時津風
 【大冶】浦風
 【漢口】比良、川内、堅田、保津、伏見、鳥羽
 樺、柳、桃、檉

【長沙】艦峨
 【厦門】安宅
 【香港】谷風
 【汕頭】宇治
 【廣東】葵、菊
 【桑港】尻矢
 【航海中】
 膠州 (五月二十八日「サイパン」發「ミレ」へ)
 知床 (一日佐世保發「シヤトル」へ)
 襟裳 (二日「タラカン」發「徳山」へ)
 神威 (四日桑港發「徳山」へ)
 洲崎 (五日「タラカン」發「徳山」へ)
 天津風 (六日上海發「大治」へ)
 鶴見 (八日上海發「漢口」へ)
 室戸 (八日西戶崎發「舞鶴」へ)
 金剛 (八日西戶崎發「舞鶴」へ)
 勝力 (九日吳發「宇和島」へ)
 磯波 (九日吳發「別府」へ)
 木曾 (九日吳發「別府」へ)
 吳 (九日吳發「別府」へ)
 呂二六、呂二七、呂一八 (十日安下庄發「吳」へ)

(部内限ナシ)

海軍公報

第三百三十一號

昭和二年六月十一日(土)
海軍大臣官房

○通牒

醫第六四號

昭和二年六月十日

海軍省醫務局長

海軍共濟組合關係各廳長殿

傷病類別ノ件

海軍共濟組合規則施行細則第四十七號書式ノ傷病ノ種類ハ別冊傷病ノ類別標準ニ依ルコトニ一定致候
右通牒ス

追テ別冊ハ之ヲ要スル向ニ配付ス

○辭令

堀 庄 平

吳海兵團劍道教師ヲ囑託ス
但報酬月額百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(一)海軍省)

○雜款

○郵便物發送先

第五驅逐隊(驅三、驅五、驅七、驅九)宛

六月十八日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

馬 公 隆

特務艦能登呂宛

自 今 第二艦隊司令部ニ同シ

海軍公報 第三百三十一號 昭和二年六月十一日

五八七

1857

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月十一日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、阿蘇、山城、五十鈴、磐手、淺間、春日、赤城

野風、沼風、波風、驅一、灘風、島風、夕風、汐風、帆風、太刀風、羽風、秋風、松、榊、杉、柏、三日月、白露、驅三一、桂、楓、梅、楠

波一、波二、波九、波一〇、波一一、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九、波二〇、波二一、波二二、波二三、波二四、波二五、波二六、波二七、波二八、波二九、波三〇、波三一、波三二、波三三、波三四、波三五、波三六、波三七、波三八、波三九、波四〇、波四一、波四二、波四三、波四四、波四五、波四六、波四七、波四八、波四九、波五〇、波五一、波五二、波五三、波五四、波五五、波五六、波五七、波五八、波五九、波六〇、波六一、波六二、波六三、波六四、波六五、波六六、波六七、波六八、波六九、波七〇、波七一、波七二、波七三、波七四、波七五、波七六、波七七、波七八、波七九、波八〇、波八一、波八二、波八三、波八四、波八五、波八六、波八七、波八八、波八九、波九〇、波九一、波九二、波九三、波九四、波九五、波九六、波九七、波九八、波九九、波一〇〇

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響、武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎、青島、間宮

加賀、(妙高)、(伊五八)

長門、陸奥、伊勢、日向、龍田、鳳翔

迅鯨

梅、柿、榆、栗、菱、蕨、葦、桐、櫻、橘、樺

呂六七、呂六五、呂六四、呂六三、呂六八、呂六一、呂六〇、呂六二

浦賀 (驅三三)

沖風、矢風、明石、千歲、淀、霧島、鬼怒、阿武隈、球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、天龍、木曾

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄、藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、波九、波一〇、波一一、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九、波二〇、波二一、波二二、波二三、波二四、波二五、波二六、波二七、波二八、波二九、波三〇、波三一、波三二、波三三、波三四、波三五、波三六、波三七、波三八、波三九、波四〇、波四一、波四二、波四三、波四四、波四五、波四六、波四七、波四八、波四九、波五〇、波五一、波五二、波五三、波五四、波五五、波五六、波五七、波五八、波五九、波六〇、波六一、波六二、波六三、波六四、波六五、波六六、波六七、波六八、波六九、波七〇、波七一、波七二、波七三、波七四、波七五、波七六、波七七、波七八、波七九、波八〇、波八一、波八二、波八三、波八四、波八五、波八六、波八七、波八八、波八九、波九〇、波九一、波九二、波九三、波九四、波九五、波九六、波九七、波九八、波九九、波一〇〇

野間、野島、劍埼、朝日、攝津、石廊、隱戸、笠戸丸

伊三五、伊三四、伊三一、伊二二、伊二一、伊二〇、伊一九、伊一八、伊一七、伊一六、伊一五、伊一四、伊一三、伊一二、伊一一、伊一〇、伊九、伊八、伊七、伊六、伊五、伊四、伊三、伊二、伊一

大坂、(驅三四)

神戶、(衣笠)、(呂六六)、(伊二三)

小松島、金剛、比叡、加古、那珂

宇和島、勝力、吾妻、室戸

濱田、多摩、大和、最上、名取、出雲、由良、夕張、駒橋、佐世保、若宮

海軍公報 第百三十一號 昭和二年六月十一日

五八九

長崎 青葉 (伊五四)
 水俣 長良
 馬公 大井、滿州
 鎮海 江風、區驅三、驅五、驅七、驅九
 塘寮加神 區山風、海風、檜、榎
 天津 區峯風、澤風
 芝罘 檜
 青島 對馬、平戸、常磐
 上海 利根、八雲、矢矧、勢多
 鎮江 區驅一二、驅一六、驅一八、驅一〇
 南京 磯田
 蕪湖 磯風
 九江 濱風
 九江 時津風

區驅二七、驅二九、區驅一一、驅一七、
 區驅一三、驅一五、區驅二一、驅一九、
 區驅二三、驅二五、區樅、樺、梨、竹、
 區驅三二
 呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、
 區呂二四、呂二三、呂二五、區呂三二、
 呂二九、呂三〇
 朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風
 敷島、佐多、能登呂、早鞆

大治 天津風
 漢口 比良、川内、堅田、伏見、鳥羽
 長沙 檣嶺
 廈門 區谷風
 汕頭 宇治
 廣東 葵
 航海中
 知床 (一日佐世保發「シヤトル」へ)
 襟裳 (二日「タラカン」發「徳山」へ)
 神威 (四日「タラカン」發「徳山」へ)
 洲崎 (五日「タラカン」發「徳山」へ)
 鶴見 (八日上海發「漢口」へ)
 驅三〇、驅二八 (九日橋灣發「佐世保」へ)
 磯波 (九日吳發「別府」へ)
 保津 (十日漢口發「重慶」へ)
 桑、蓬、逆 (十日佐世保發「伊勢灣」へ)
 桑 (十日旅順發「芝罘」へ)
 尻矢 (十日桑港發「徳山」へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第三百三十二號

昭和二年六月十三日(月)
海軍大臣官房

○令達

官房第二〇二六號

力登

昭和二年六月十三日
昭和中一年度歳出科目左ノ通追加ス

津川

歳出科目

海軍大臣

款	項	目	節	解疏	會計科目 電信略號
小演習費					ヤツ
	小演習費				
		小演習費			
			事務費		ヤネ

尙歳出經常部諸支出金ノ款、同項、特別賜金ノ目、解
疏中「大正二年勅令第九號及第十一號」ヲ「大正二年

海軍公報 第三百三十二號 昭和二年六月十三日

勅令第九號、同第十一號及昭和二年勅令第六十四
號ニ改ム

○雜款

○特務艦隱戸行動豫定

地名	着	發
吳		六月二十日
タラカン	七月一日	七月三日
德山	十五日	十七日
吳	十七日	

○郵便物發送先

第七潜水隊(伊一、伊三)宛

自今

横須賀郵便局留置

伊號第二十一潜水艦宛

六月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀
其ノ後ハ 吳

五九一

1860

○通信 (新局開設)

- 一、局名 釜山無線電信局
- 二、位置 慶尙南道釜山府青鶴洞
- 三、地理上ノ位置 東經百二十九度三分二十六秒五
北緯三十五度五分四十三秒
- 四、呼出符合 J B T
- 五、裝置方式 真空管式
- 六、通達距離 晝夜二百海里
可聽持續電波六〇〇米、
八〇〇米
- 七、使用波長 移動業務用
持續電波二二〇〇米、
二四〇〇米
固定業務用
持續電波一七八〇米
(臨時固定通信ヲナス豫備波長)
- 八、通信執務時間 無 休
- 九、電報取扱種別 内外和歐文電報
- 五、業務取扱範圍 一、海岸局業務
二、有線障礙ノ場合其ノ他臨時固定通信ヲナス
- 二、設計ノ大要 方式 真空管式
電力 二「キロワット」
周波數 五〇〇「サイクル」
空中線 自立式鐵塔一基百三十尺
木柱一基百三十尺

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月十三日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、阿蘇、山城、五十鈴、磐手、淺間、春日、赤城

野風、沼風、波風、驅一、灘風、島風、夕風、沙風、帆風、太刀風、羽風、秋風、松、榊、杉、柏、三月月、白露、驅三一、桂、楓、梅、楠

波一、波二、波九、波一〇、波一一、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九、波二〇、波二一、波二二、波二三、波二四、波二五、波二六、波二七、波二八、波二九、波三〇、波三一、波三二、波三三、波三四、波三五、波三六、波三七、波三八、波三九、波四〇、波四一、波四二、波四三、波四四、波四五、波四六、波四七、波四八、波四九、波五〇、波五一、波五二、波五三、波五四、波五五、波五六、波五七、波五八、波五九、波六〇、波六一、波六二、波六三、波六四、波六五、波六六、波六七、波六八、波六九、波七〇、波七一、波七二、波七三、波七四、波七五、波七六、波七七、波七八、波七九、波八〇、波八一、波八二、波八三、波八四、波八五、波八六、波八七、波八八、波八九、波九〇、波九一、波九二、波九三、波九四、波九五、波九六、波九七、波九八、波九九、波一〇〇

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、富士、松江、大泊、高崎、青島

浦賀、(加賀)、(妙高)、(伊五八)

伊勢灣、長門、陸奥、伊勢、日向、龍田、風翔、迅鯨

梅、柿、榆、栗、菱、蕨、葦、桐、櫻、橘、樺

呂六七、呂六五、呂六四、呂六三、呂六八、呂六一、呂六〇、呂六二

【大湊】

沖風、矢風、明石、千歳、淀、霧島、鬼怒、阿武隈、球磨、韓崎、古鷹、神通、扶桑、天龍、本會

驅四、驅三、驅八、驅六、萩、薄、藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、波九、波一〇、波一一、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九、波二〇、波二一、波二二、波二三、波二四、波二五、波二六、波二七、波二八、波二九、波三〇、波三一、波三二、波三三、波三四、波三五、波三六、波三七、波三八、波三九、波四〇、波四一、波四二、波四三、波四四、波四五、波四六、波四七、波四八、波四九、波五〇、波五一、波五二、波五三、波五四、波五五、波五六、波五七、波五八、波五九、波六〇、波六一、波六二、波六三、波六四、波六五、波六六、波六七、波六八、波六九、波七〇、波七一、波七二、波七三、波七四、波七五、波七六、波七七、波七八、波七九、波八〇、波八一、波八二、波八三、波八四、波八五、波八六、波八七、波八八、波八九、波九〇、波九一、波九二、波九三、波九四、波九五、波九六、波九七、波九八、波九九、波一〇〇

水無月、長月、菊月、浦波、磯波、綾波、野間、野島、劍崎、朝日、攝津、石廊、隱戸

笠戸丸、(伊五五)、(驅三四)

大阪、(呂六一)、(伊二二)

神戶、(衣笠)、(呂六六)、(伊二二)

小松島、(金剛)、(比叡)、(加古)、(那珂)

德山、(衣笠)、(呂六六)、(伊二二)

舞鶴、(衣笠)、(呂六六)、(伊二二)

萩、(衣笠)、(呂六六)、(伊二二)

佐世保、(衣笠)、(呂六六)、(伊二二)

最上、名取、出雲、夕張、駒橋、若宮、驅二七、驅二九、驅三一、驅一七、驅一三、驅一五、驅二三、驅二五、

【長崎】(青葉) 驅一九、驅二二、榎、驅三二、
 呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、
 呂二四、呂三三、呂二五、呂三二、
 呂二九、呂三〇
 朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風
 敷島、佐多、早鞆
 (伊五四)
 【枕崎】長良
 【馬公】大井、滿州
 江風、驅三、驅五、驅七、驅九
 【鎮海】山風、海風、檜、榎
 【旅順】膠州
 【塔察加沖】峯風、澤風
 【天津】榎
 【芝罘】桑
 【青島】對馬、平戸、常磐
 榎
 【上海】利根、八雲、矢矧、勢多
 驅一二、驅一六、驅一八、驅一〇
 【鎮江】隅田
 【南京】磯風
 【蕪湖】濱風
 【九江】時津風
 【大冶】天津風
 【漢口】比良、川内、堅田、鳥羽

【長沙】榎、柳、桃、榎、浦風
 嗟職
 【汕頭】安宅
 菊
 【廣東】宇治
 葵

【航海中】

知床 (一日佐世保發「シヤトル」へ)
 神威 (四日桑港發「徳山」へ)
 洲崎 (五日「タラカン」發「徳山」へ)
 鶴見 (八日上海發「漢口」へ)
 驅三〇、驅二八 (九日橋灣發「佐世保」へ)
 保津 (十日漢口發「重慶」へ)
 蓼、蓬、蓮 (十日佐世保發「伊勢灣」へ)
 尻矢 (十日桑港發「徳山」へ)
 從、梨、竹 (十一日佐世保發「伊勢灣」へ)
 勝利 (十二日宇和島發「吳」へ)
 由良 (十二日佐世保發「伊勢灣」へ)
 伏見 (十二日漢口發)
 谷風 (十二日廈門發「馬尾」へ)
 能登呂 (十二日佐世保發「佐伯」へ)
 間宮 (十二日横須賀發「伊勢灣」へ)
 大和 (十三日境發「丹後沖作業地」へ)

(部内限五頁、同附錄九頁)